

# 第2次国立大学等施設緊急整備5か年計画の成果・効果の検証について (中間報告)

資料4

「第2次国立大学等施設緊急整備5か年計画(平成18年度～平成22年度)」(以下「第2次5か年計画」という)において整備した施設について、施設整備による成果・効果等について各国立大学法人等に対しアンケート調査を実施。

## 1. 調査の概要

### (1) 調査内容

#### ① 国立大学法人等の長を対象とした調査

- ・第2次5か年計画における大学全体としての施設整備の成果・効果や施設の現状等について調査

#### ② 第2次5か年計画において整備した施設を利用している教員等を対象とした調査

- ・施設整備による教育研究等への効果や対象施設以外の施設の現状について、施設の区分別(教育研究施設、附属図書館、学生支援施設、附属病院)に調査
- ・調査対象の施設は、原則として第2次5か年計画の期間中に整備した全ての施設(耐震対策やアスベスト対策のみの事業等は除く。)を対象とし、棟単位で調査

※調査項目は別添参照

### (2) 実施期間

平成21年12月24日から平成22年2月2日まで

## 2. 調査結果

### (1) 国立大学法人等の長を対象とした調査

- ・対象は、国立大学法人(86)、大学共同利用機関法人(4)、国立高等専門学校機構(1)
- ・全法人から回答
- ・回答内容は別紙1参照

### (2) 第2次5か年計画において整備した施設を利用している教員等を対象とした調査

- ・回答内容は別紙2参照

#### 【教育研究施設】

- ・対象施設 526棟
- ・抽出人数 5859人、回答数 3534人 (回答率 60%)

#### 【附属図書館】

- ・対象施設 29棟
- ・抽出人数 319人、回答数 218人(回答率 68%)

#### 【学生支援施設】

- ・対象施設 63棟
- ・抽出人数 601人、回答数 390人(回答率 65%)

#### 【附属病院】

- ・対象施設 29棟
- ・抽出人数 427人、回答数 268人(回答率 63%)

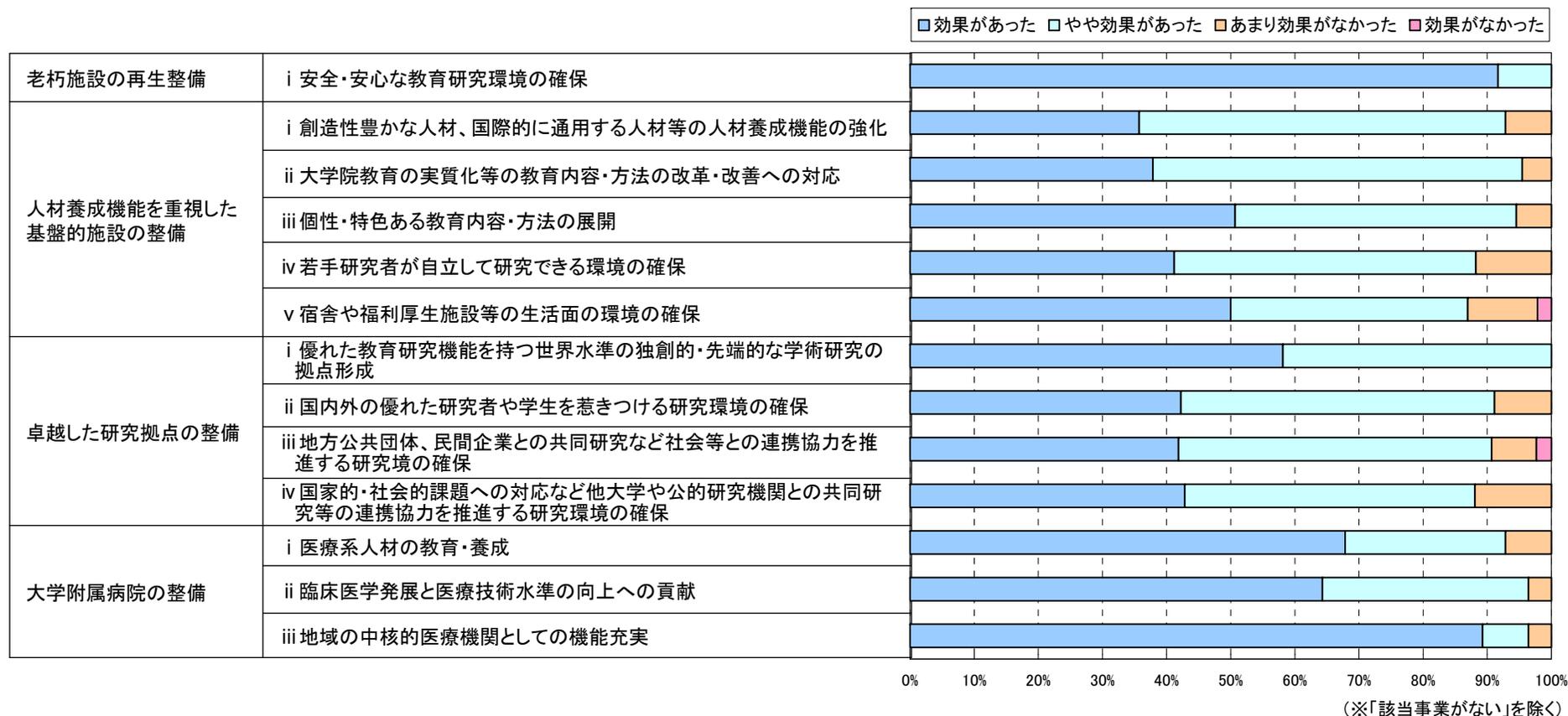
## 3. 今後の予定

今後、クロス集計の実施等により更なる検証を進めるとともに、顕著な効果があった事例について、事例を収集し第2次5か年計画の成果・効果の検証を行う。

## 1. 第2次5か年計画の期間中に整備した施設による教育研究等への効果について(選択式)

全設問において、「効果があった」又は「やや効果があった」との回答が約9割であり、第2次5か年計画による施設整備により教育研究等へ一定の効果が現れていると考えられる。

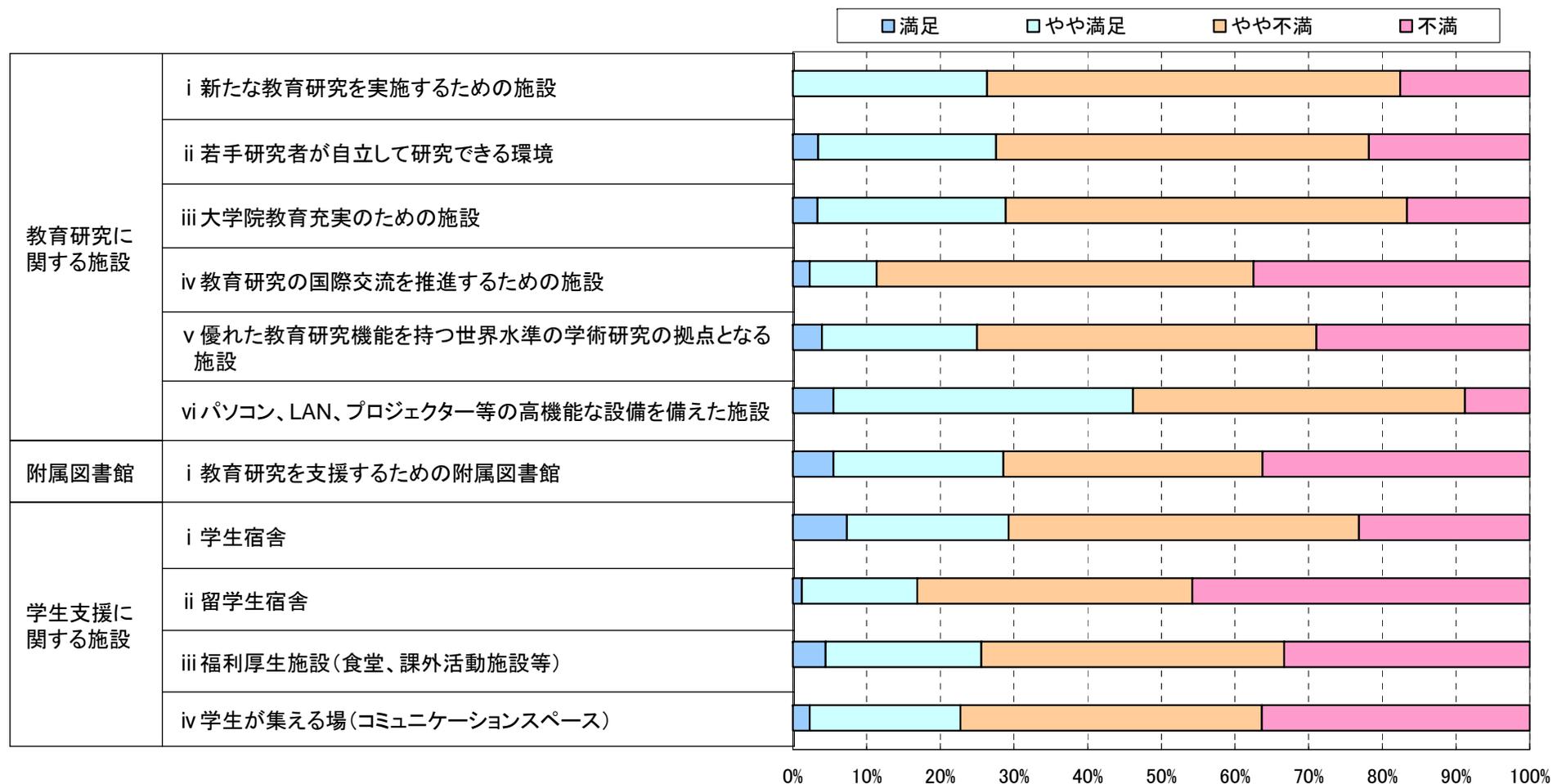
特に、「安全・安心な教育研究環境の確保」や「地域の中核的医療機関としての機能充実」については、「効果があった」との回答が約9割となっており、整備の効果が現れてきている。



## 2. 現在保有している施設の現状について(選択式)

### ①保有面積(量)の満足度

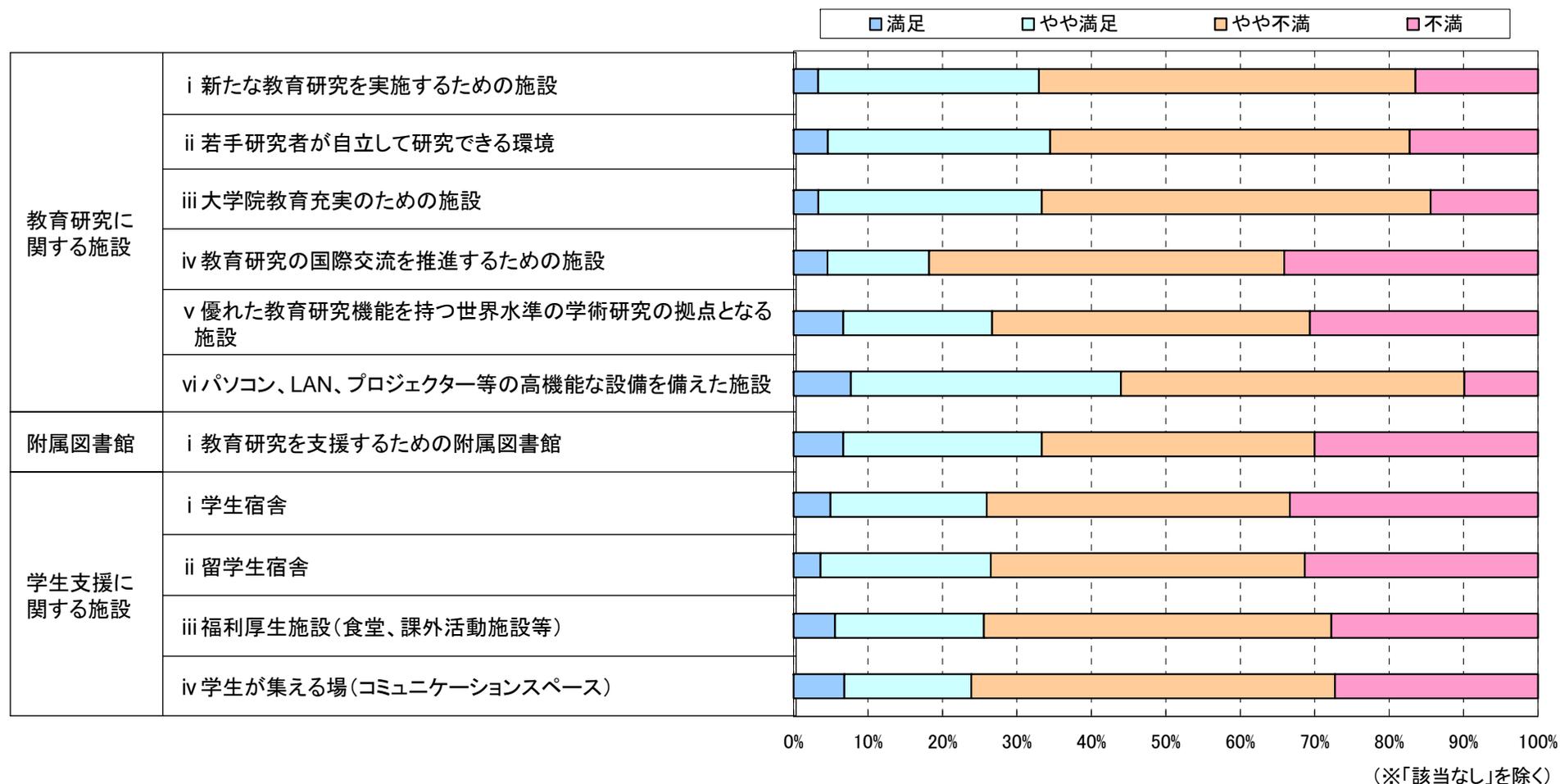
現在保有している施設の面積(量)に関する満足度については、「不満」又は「やや不満」との回答が約7割であり、特に「教育研究の国際交流を推進するための施設」や「留学生宿舎」については、8割を超えており満足度が低い。



(※「該当なし」を除く)

## ②保有施設の機能(質)の満足度

現在保有している施設の機能(質)に関する満足度については、「不満」又は「やや不満」との回答が約7割であり、特に「教育研究の国際交流を推進するための施設」については、8割を超えており満足度が低い。

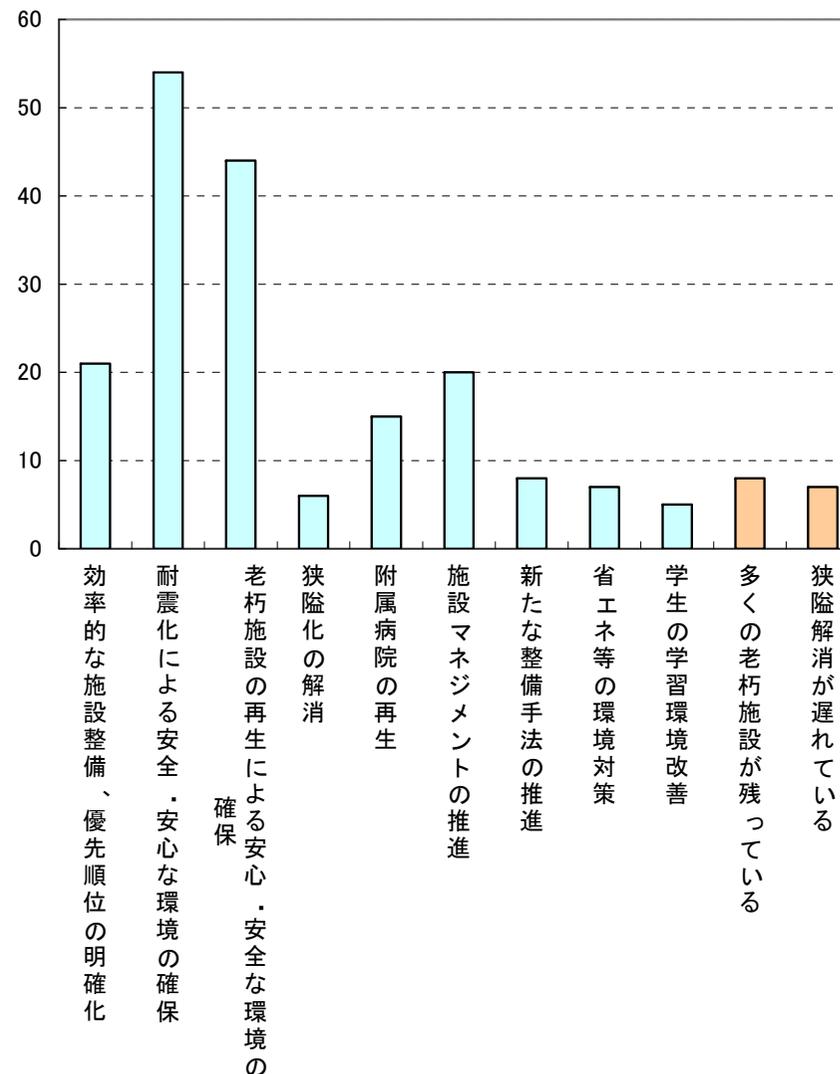


### 3. 各国立大学法人等における、第2次5か年計画を策定したことの効果・影響（自由記述）

第2次5か年計画を策定したことにより、各大学等においても、安全・安心な環境が確保されたこと、優先順位が明確になり計画的な整備が可能となったことや、施設マネジメントの推進や新たな整備手法の活用意識が高まったなどの回答が多い。一方、残っている老朽施設の解消や狭隘化の解消を引き続き求める回答もあった。

#### 【回答の例】

- ・老朽施設の再生が最重要課題であったことにより、学内での老朽施設改修の整備優先順位確定の目安になり、計画的に順次改修を実施することが出来た。
- ・老朽施設の再生や耐震補強等により、安全・安心な施設が整備された。また、既存施設のスペース再配分により、若手研究者等が自立して研究できる環境が整備され、活性化していると考えている。
- ・文部科学省の施設整備施策の明確化と重点的支援により整備が推進されると共に、学内においても経営的視点に立った施設マネジメントの重要性・必要性に対する理解が深まった。
- ・学内においても国の施策に沿った整備方針について理解が図られたことにより具体的な施設整備の優先度に対する認識が図れ、整備の優先度が低い事業については自己資金の活用等新たな整備手法を模索して整備を行うようになった。
- ・老朽建物や大学施設・設備の機能改善が進められ、安全安心は着実に向上した実感がある。このことにより、学生の教育・研究に集中できる環境が整い始めていると思う。
- ・附属病院の再開発整備も最優先課題として明確にできたことで、病棟・診療棟の整備に着手でき、特定機能病院としてより高度先進医療を行える環境を提供し、災害拠点病院として地域に貢献できる環境が整うことは非常に重要である。
- ・第2次5か年計画の策定により、重点整備事業が絞り込まれ事業展開の方針が明確となり、全国一律の施設整備が推進されたことにより大きな効果が得られた。しかしその反面、大学の特色、独自性が打ち消されるというマイナス面も顕在したと思われる。

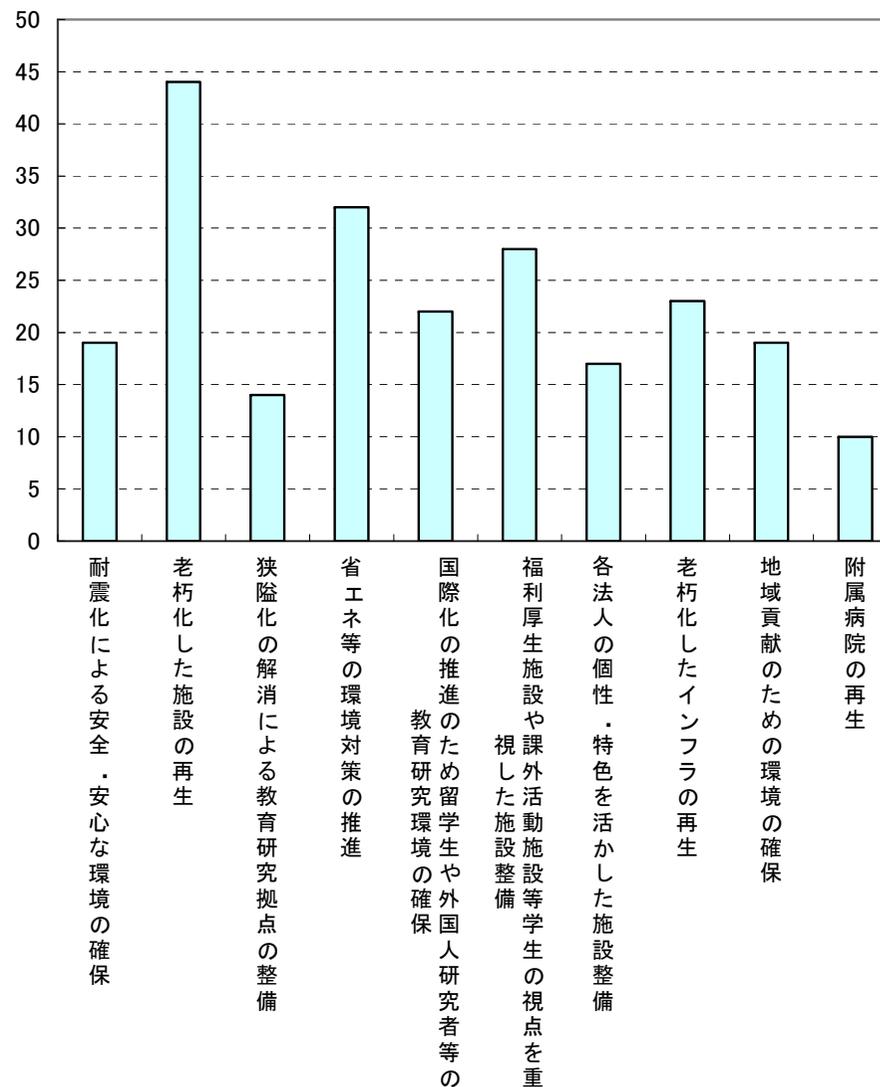


#### 4. ポスト5か年計画の盛り込むべき観点等について(自由記述)

ポスト5か年計画に盛り込むべき観点として、引き続き老朽施設の再生整備を行うとともに、学生の視点を重視した施設整備や国際化の観点から留学生や外国人研究者を受け入れる環境の整備、省エネルギー対策等の環境に配慮した整備を行うことが必要との回答が多い。また、各大学等の個性や特色、地域性に応じ多様なニーズに対応できるよう求める回答もあった。

##### 【回答の例】

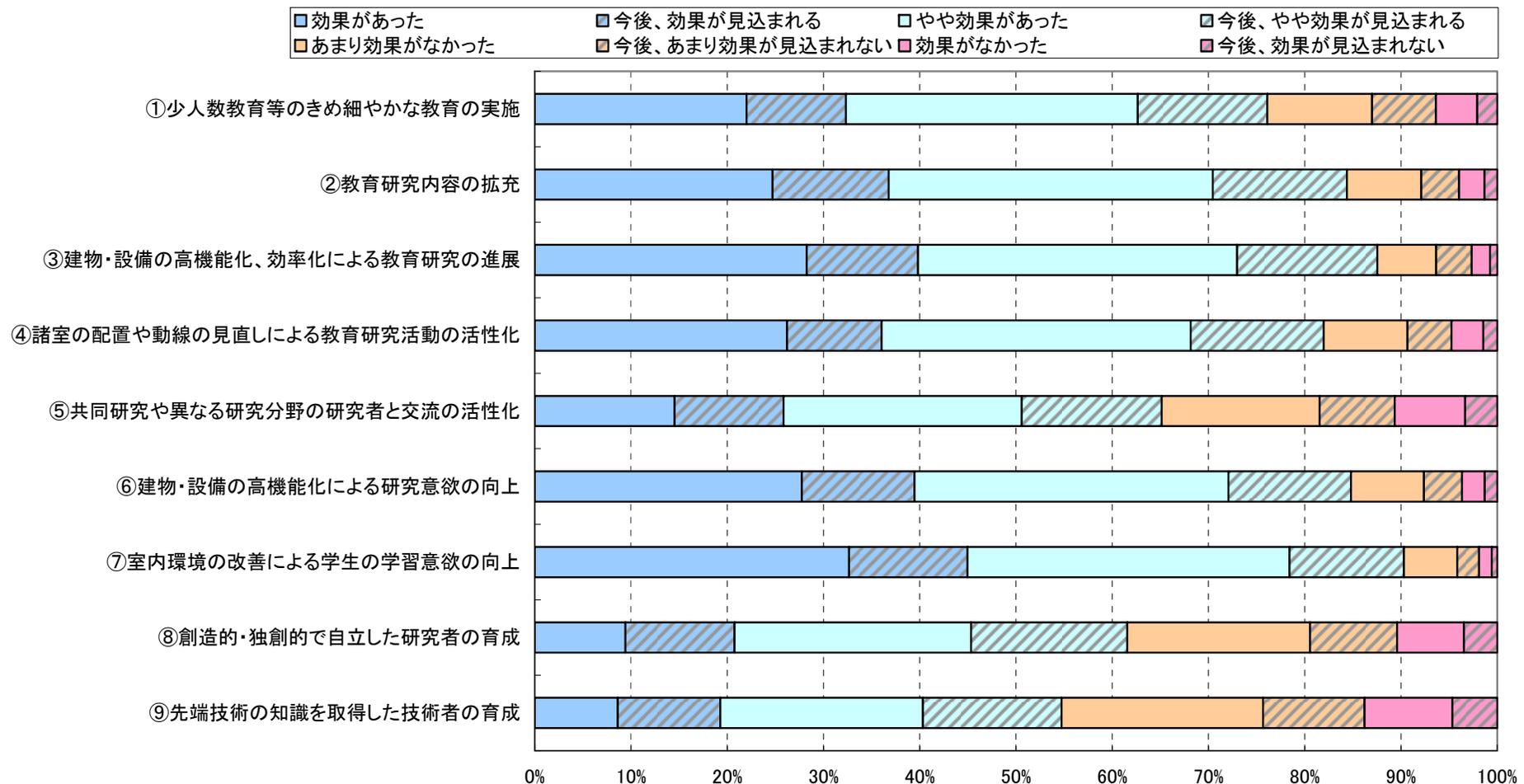
- 安全安心、老朽改修、卓越した研究拠点の計画的重点的な整備や、CO2削減に配慮し、資源、エネルギーの有効活用に努め、機能的効率的キャンパス創りを引き続き推進することは重要である。
- 大学施設が安全安心な施設に再生されることは引き続き必要であるが、加えて、学生にとって魅力のあるキャンパス及び学生支援施設が充実していることが重要と考える。
- 学生教職員の福利厚生に関する部分の施設整備が遅れている。大学の基礎力として教育力や研究力が求められる事は当然だが、学生(留学生を含む)や研究者にとって魅力ある生活環境を整備し、「学びたいキャンパス・研究をしたいキャンパス」であることも必要である。特に地方大学では都市圏に比べ立地や地域経済面でのハンディもあり、自助努力だけでは及ばない部分がある。
- 我が国の経済的発展や国際的役割の進展のために「国際化」の観点からの施策(研究者・留学生受入れ施設等)を希望する。
- 盛り込むべき観点としては、①経年劣化し老朽化した施設、基幹的設備等の改修整備②各大学の特色ある取組み等に係る施設整備③大学病院関係の施設整備
- 国立大学法人の施設は単なる建設投資ではなく、将来の我が国を支える根幹となる「人」への投資であることを第一に示して頂きたい。また、キャンパス施設の改善は地球環境の改善に向けて、ソフト面での教育効果とハード面での温暖化ガス削減の両面に対して効果が直結するものであることも重要と考えている。



## 1. 施設整備による教育研究等への効果について(選択式)

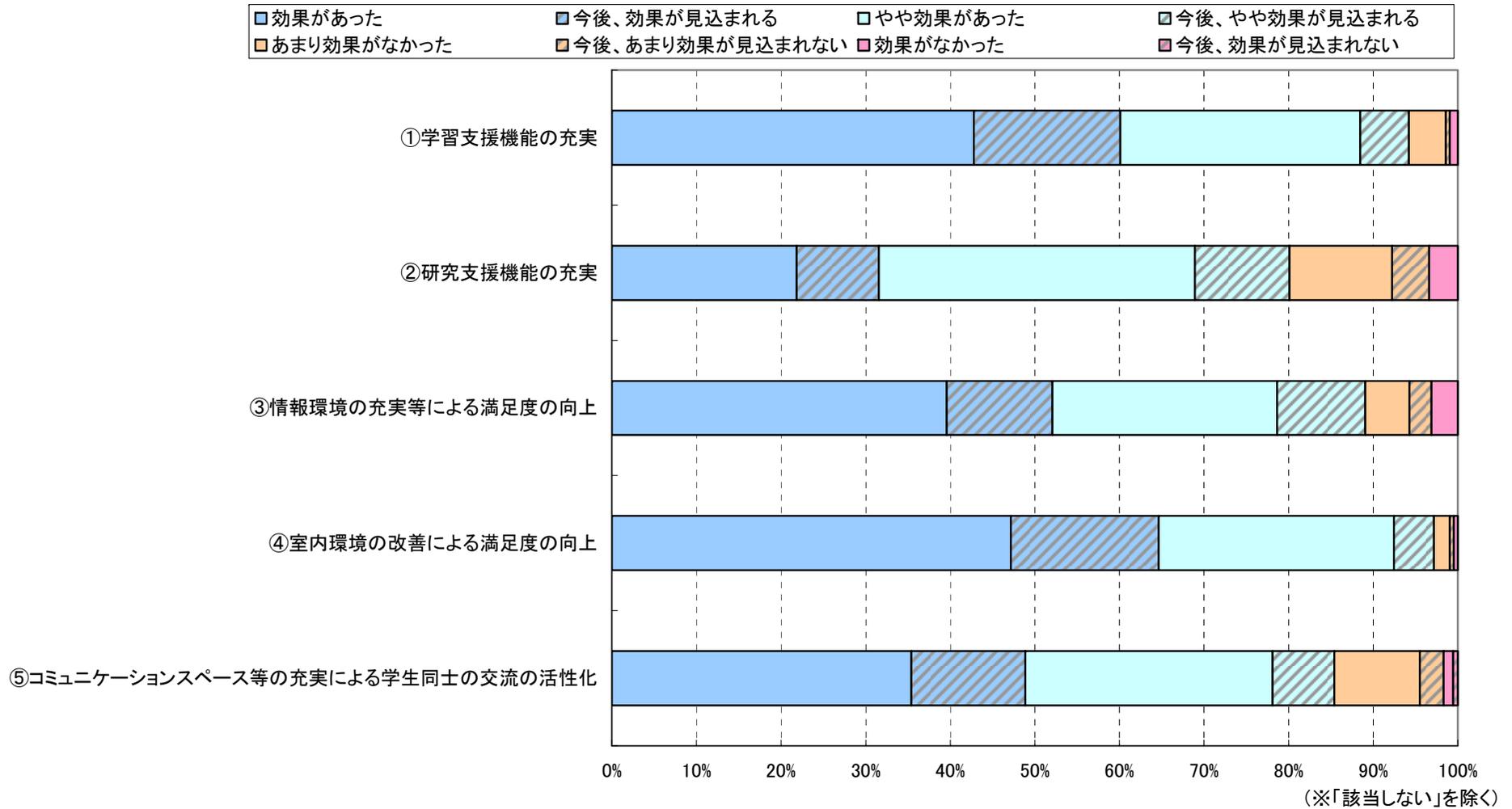
### 教育研究施設

全体的には「効果があった(見込まれる)」又は「やや効果があった(見込まれる)」との回答が多く、教育研究施設の整備により教育研究等へ一定の効果が現れていると考えられる。特に「室内環境の改善による学習意欲の向上」や「施設・設備の高機能化、効率化による教育研究の進展」等との回答は8割を超えており、整備の効果が現れている。



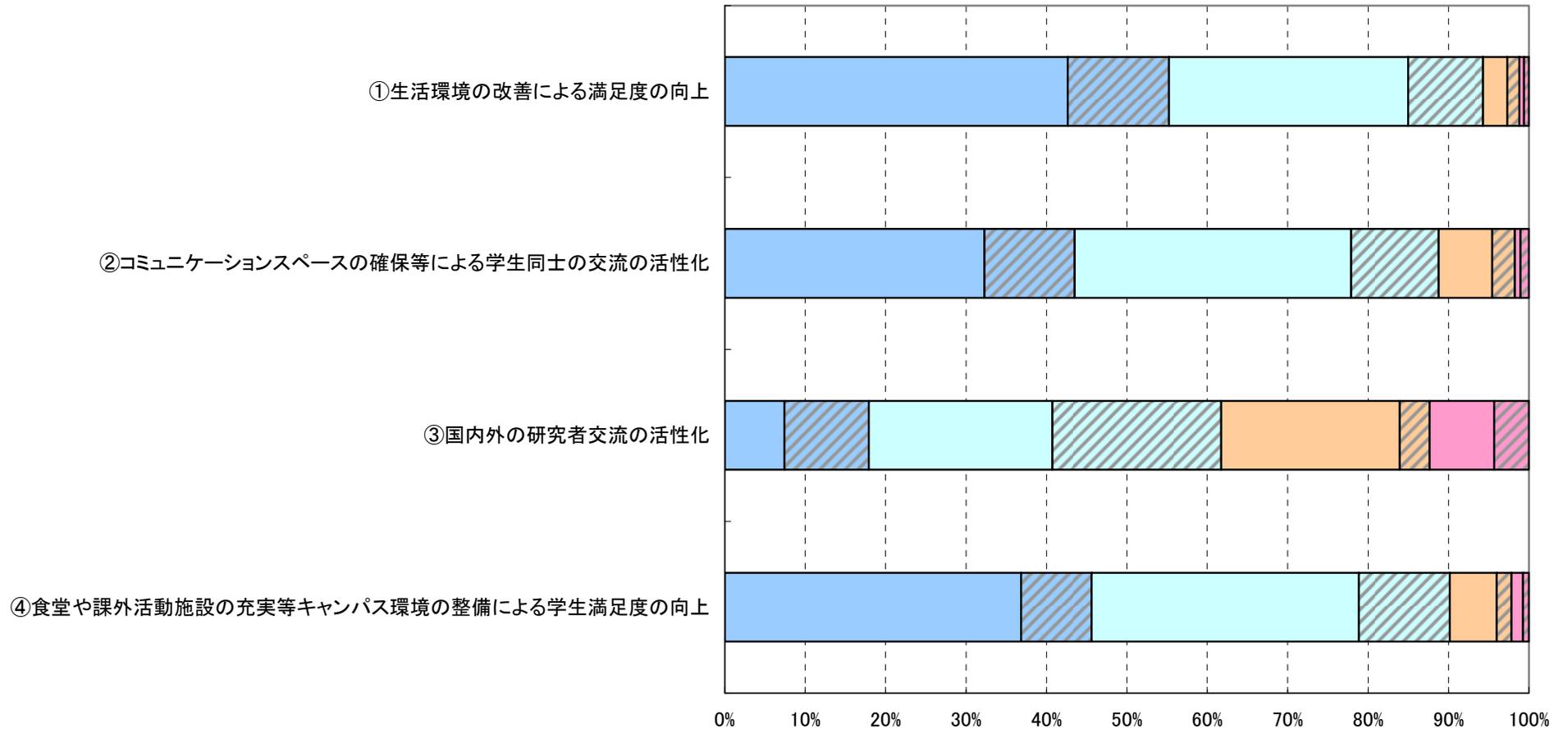
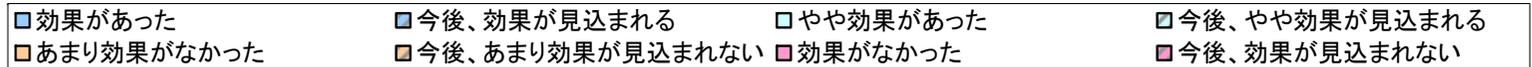
## 附属図書館

全体的には「効果があった(見込まれる)」又は「やや効果があった(見込まれる)」との回答が多く、附属図書館の整備により教育研究等へ一定の効果が現れていると考えられる。特に「室内環境の改善による満足度の向上」や「学習支援機能の充実」は9割を超えており、整備の効果が現れている。



## 学生支援施設

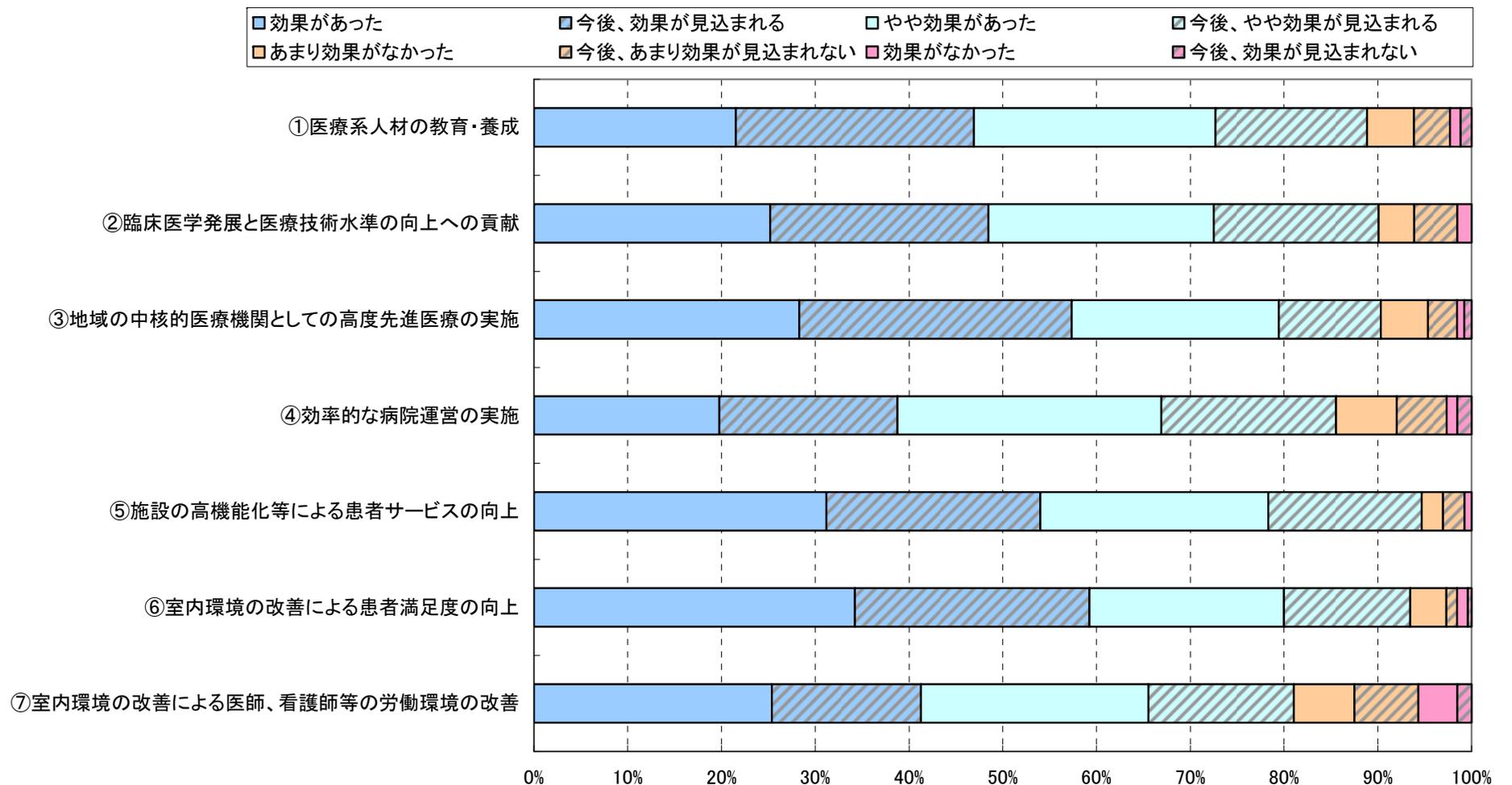
全体的には「効果があった(見込まれる)」又は「やや効果があった(見込まれる)」との回答が多く、学生支援施設の整備により教育研究等へ一定の効果が現れていると考えられる。特に「生活環境改善による満足度の向上」や「コミュニケーションスペースの確保等による学生同士の交流の活性化」等との回答は約9割となっており、整備の効果が現れている。一方、「国内外の研究者の交流の活性化」については、約6割となっている。



(※「該当しない」を除く)

## 附属病院

全体的には「効果があった(見込まれる)」又は「やや効果があった(見込まれる)」との回答が多く、附属病院の整備により教育・研究・診療へ一定の効果が現れていると考えられる。特に「施設の高機能化による患者サービスの向上」や「室内環境の改善による患者満足度の向上」等との回答は9割を超えており、整備の効果が現れている。

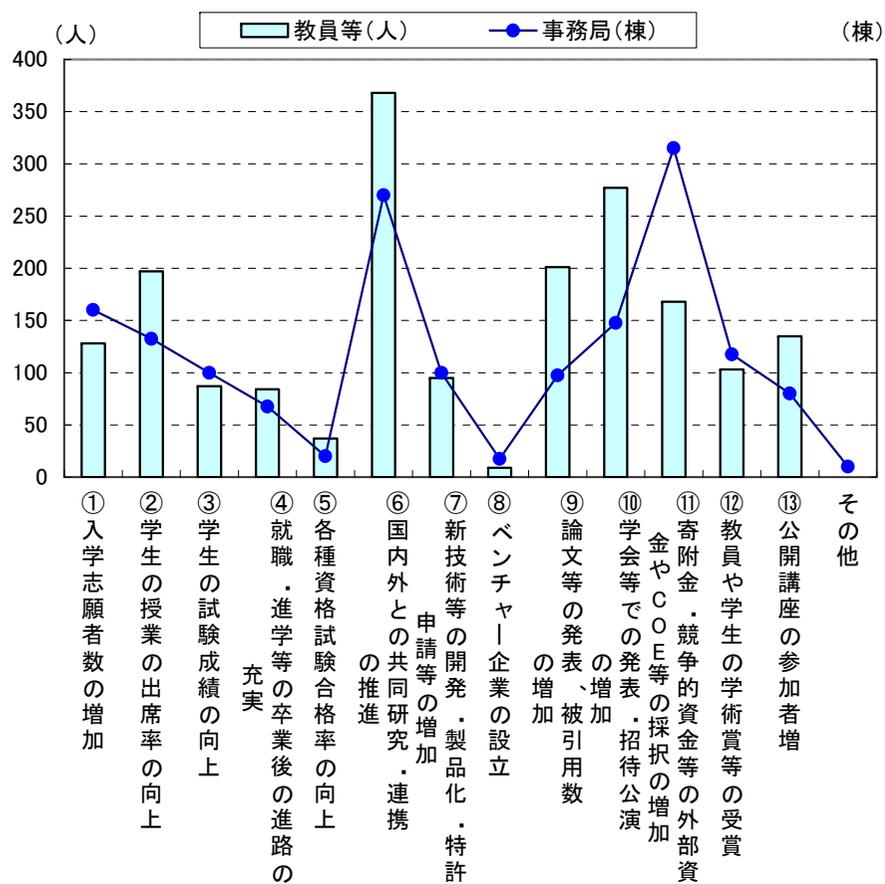


(※「該当しない」を除く)

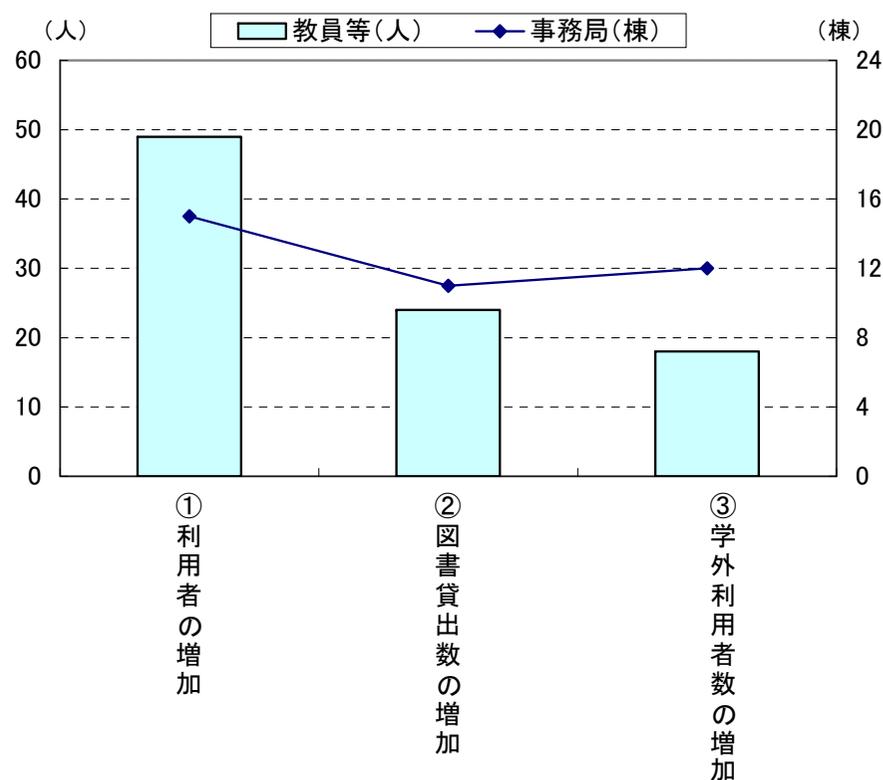
## 2. 施設整備による教育研究等への効果として定量的に把握されている効果

施設整備による教育研究等への効果として定量的に把握されている効果もあり、特に、教育研究施設では「⑥共同研究・連携の推進」、「⑩学会等での発表・招待講演の増加」、附属図書館では「①利用者の増加」、学生支援施設では「①入居率の向上」、附属病院では、「②患者数の増加」、「⑤病院収入の増加」等について施設整備により一定の効果が現れている。

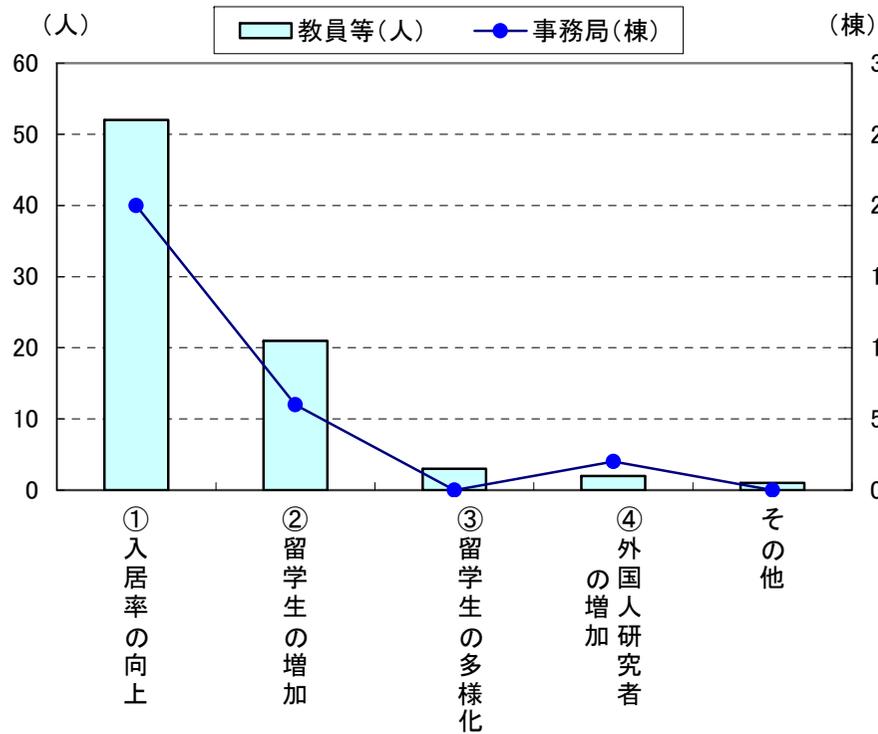
### 教育研究施設



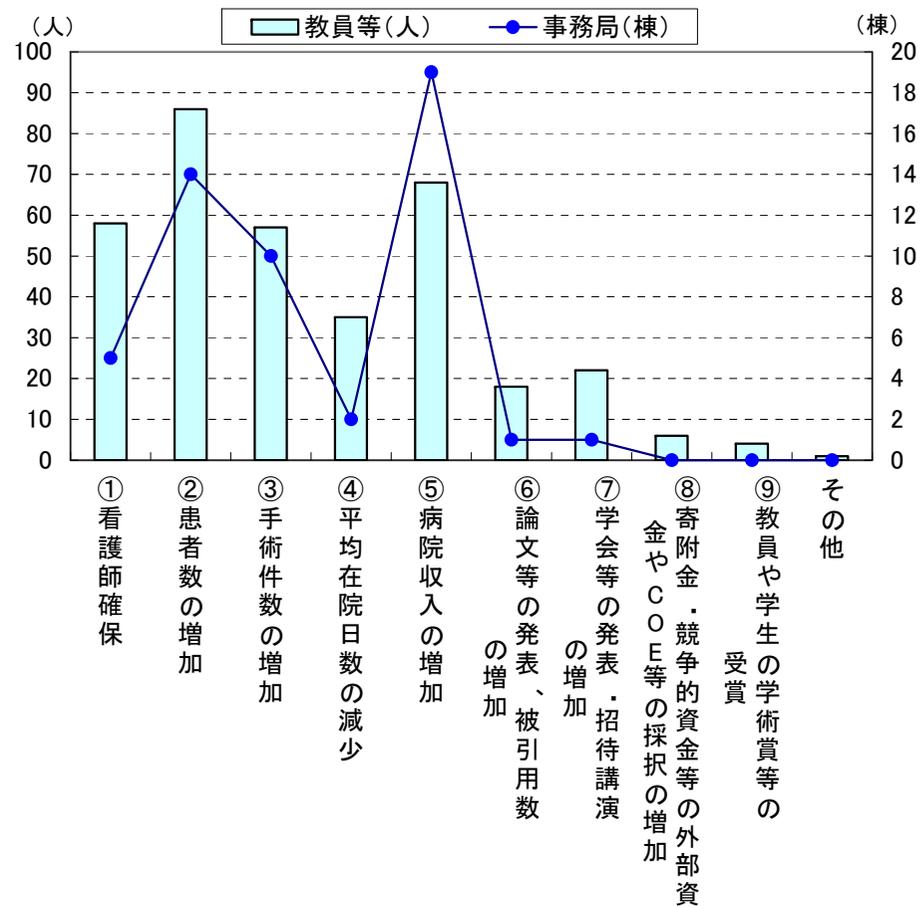
### 附属図書館



## 学生支援施設



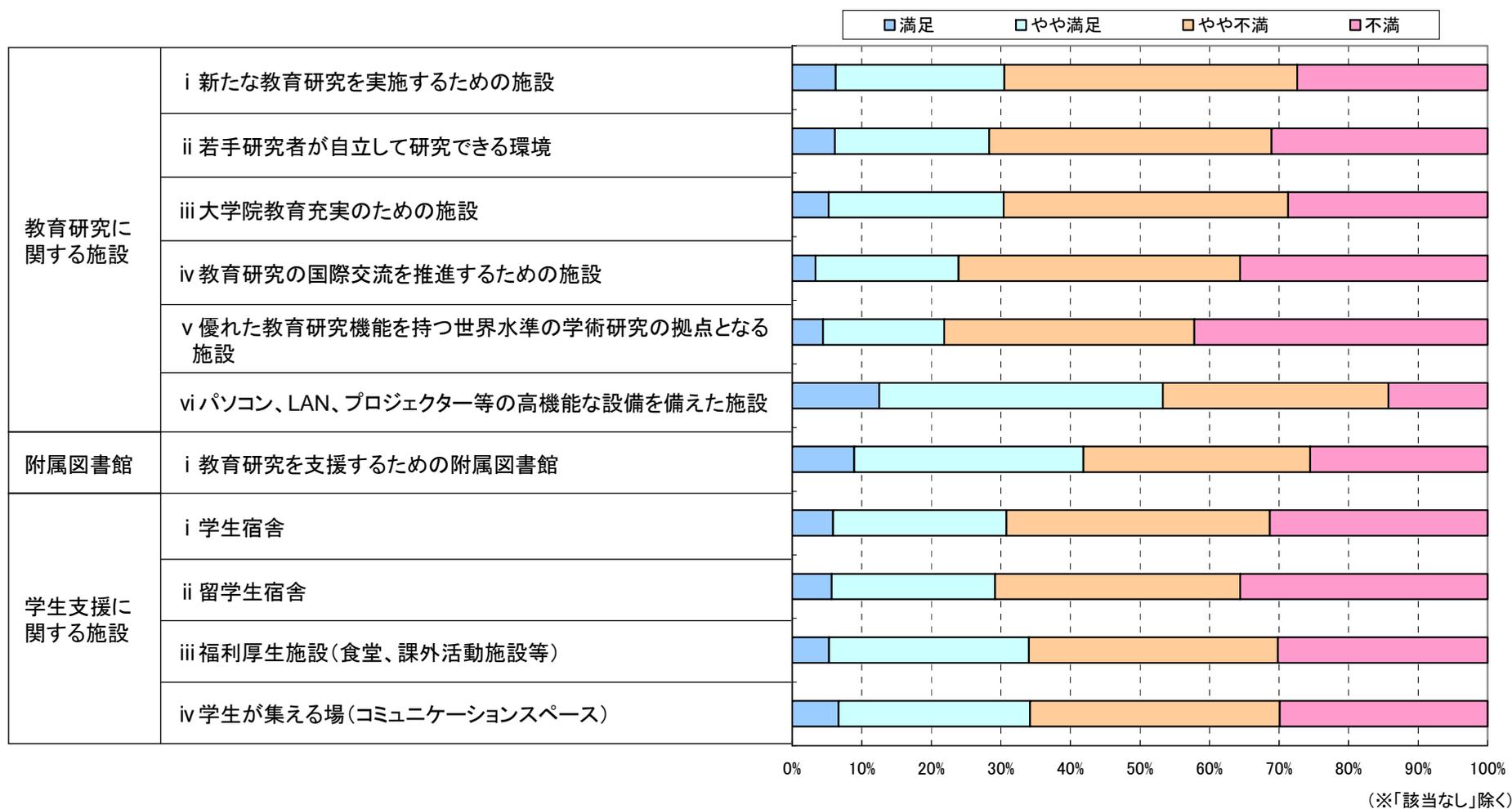
## 附属病院



### 3. 現在保有している施設の現状について(選択式)

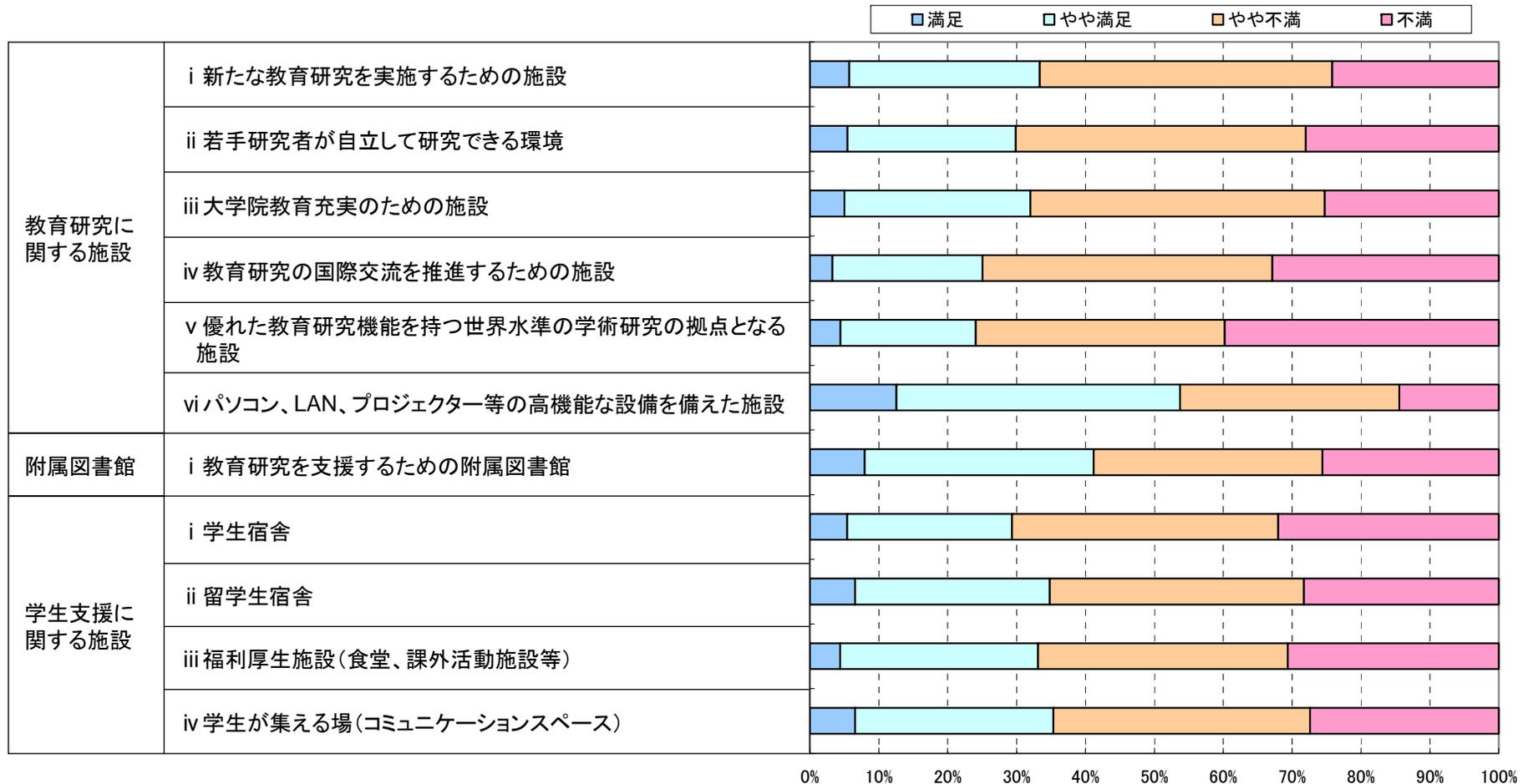
#### ①保有面積(量)の満足度

現在保有している施設の面積(量)に関する満足度については、全体的に「不満」又は「やや不満」との回答が多く、特に「優れた教育研究機能を持つ世界最高水準の学術研究の拠点となる施設」や「教育研究の国際交流を推進するための施設」については、約8割となっており、満足度が低い。



## ②保有施設の機能(質)の満足度

現在保有している施設の機能(質)に関する満足度については、全体的に「不満」又は「やや不満」との回答が多く、特に「優れた教育研究機能を持つ世界最高水準の学術研究の拠点となる施設」や「教育研究の国際交流を推進するための施設」については、8割弱となっており、満足度が低い。



(※「該当なし」除く)

## 調査票1【法人の長】

### 国立大学法人等施設の整備に関する意識調査 調査票

1. 「第2次国立大学等施設緊急整備5か年計画(平成18～22年度)」(以下「第2次5か年計画」という。)期間中の施設整備について

(1) 第2次5か年計画期間中に整備した施設による教育研究等への効果について、どのようにお考えですか。個別事業毎ではなく、大学全体の施設整備についてお答え下さい。**該当欄に1つ○を付けて下さい。**  
(以下の各項目については、第2次5か年計画で整備の基本方針をもとに作成しています。)

	効果があった	やや効果があった	あまり効果がなかった	効果がなかった	該当事業がない
①老朽施設の再生整備(耐震化等)					
i 安全・安心な教育研究環境の確保					
②人材養成機能を重視した基盤的施設の整備					
i 創造性豊かな人材、国際的に通用する人材等の人材養成機能の強化					
ii 大学院教育の実質化等の教育内容・方法の改革・改善への対応					
iii 個性・特色ある教育内容・方法の展開					
iv 若手研究者が自立して研究できる環境の確保					
v 宿舎や福利厚生施設等の生活面の環境の確保					
③卓越した研究拠点の整備					
i 優れた教育研究機能を持つ世界水準の独創的・先端的な学術研究の拠点形成					
ii 国内外の優れた研究者や学生を惹きつける研究環境の確保					
iii 地方公共団体、民間企業との共同研究など社会等との連携協力を推進する研究環境の確保					
iv 国家的・社会的課題への対応など他大学や公的研究機関との共同研究等の連携協力を推進する研究環境の確保					
④大学附属病院の整備					
i 医療系人材の教育・養成					
ii 臨床医学発展と医療技術水準の向上への貢献					
iii 地域の中核的医療機関としての機能充実					

(2)第2次5か年計画期間において実施した施設整備について、教育研究等への顕著な効果がみられる事例等がありましたら、ご記入願います。

2. 第2次5か年計画について

文部科学省が第2次5か年計画を策定したことは、各国立大学法人等における施設整備の推進においてどのような効果や影響があったとお考えですか。ご自由にご記入願います。

3. キャンパス全体及び各施設の現状について

(1)現在のキャンパス全体の調和や個性、施設の整備状況等のキャンパス全体の環境について、どのようにお考えですか。ご自由にご記入願います。

(2)貴学が現在保有している施設について、どのようにお考えですか。調査対象施設以外の施設の保有面積(量)、施設の機能(質)について、それぞれ該当欄に1つつ〇を付けて下さい。

	保有面積(量)					施設の機能(質)				
	満足	やや満足	やや不満	不満	該当なし	満足	やや満足	やや不満	不満	該当なし
①教育研究に関する施設										
i 新たな教育研究を実施するための施設										
ii 若手研究者が自立して研究できる環境										
iii 大学院教育充実のための施設										
iv 教育研究の国際交流を推進するための施設										
v 優れた教育研究機能を持つ世界水準の学術研究の拠点となる施設										
vi パソコン、LAN、プロジェクター等の高機能な設備を備えた施設										
②附属図書館										
i 教育研究を支援するための附属図書館										
③学生支援に関する施設										
i 学生宿舎										
ii 留学生宿舎										
iii 福利厚生施設(食堂、課外活動施設等)										
iv 学生が集える場(コミュニケーションスペース)										

4. 新たな施設整備計画について

平成22年度は第2次5か年計画の最終年度であることから、文部科学省では、現在、新たな施設整備計画の策定に向けて検討を進めています。新たな施設整備計画に求める役割や盛り込むべき観点について、お考えがありましたらご記入願います。

設問は以上です。ご協力ありがとうございました。

教員の皆様へ

〇〇大学施設部

施設整備に関する意識調査へのご協力について(依頼)

文部科学省より、施設整備の実施により教育研究活動にどのような効果があったか把握することを目的として、「国立大学法人等における施設整備の成果・効果等に関する調査について(依頼)」（平成21年12月24日計画課長通知）が来ております。

つきましては、下記の施設整備事業により、教育研究の実施や充実等にどのような効果があったかについて、別紙調査票にご記入のうえご回答くださるようお願いいたします。（概ね5～10分程度で回答が可能です。）

お忙しいところ恐縮ですが、平成22年1月〇日までに本件担当までメールにてご回答いただくようお願いいたします。

なお、調査結果については、文部科学省において集計・分析の上、新たな施設整備計画の策定や実施に向けた重要な基礎資料となります。

記

1. 調査対象施設

法人番号	法人名	事業番号	棟名称等	竣工
				平成 年 月

2. 施設整備の内容

記号	整備内容	実施の有無	備考
i	新增築による狭隘スペースの解消		
ii	諸室の配置や動線の見直し、集約化による新たな教育研究スペースの確保		
iii	情報環境の充実等の高機能な施設の整備		
iv	耐震化や老朽化した設備の更新など安全な環境の確保		
v	若手研究者が自立して研究できる環境の整備（独立した研究スペースの確保、一人あたりの研究スペースの増加）		
vi	大学院施設の拡充		
vii	空調等の設備の整備による室内環境の快適性の確保		
viii	効率の良い空調等の設備の整備による省エネルギー化の推進		
ix	その他（上記以外の効果がありましたら主なものを記入して下さい。）		

本件担当：施設部(課)〇〇係

メールアドレス：

TEL：〇〇〇－〇〇〇

国立大学法人等施設の整備に関する意識調査 調査票

教育研究の活性化や研究成果の創出等の教育研究の成果・効果は、組織体制の充実や教育研究内容の改善等の様々な要素が複合的に関係しつつ現れるものですが、本調査では、そのうちの一つの要因として施設整備による教育研究等への効果の程度を把握することを目的としています。

以下、調査対象事業の実施により、教育研究の実施や充実等にどのような効果があったかお聞かせ下さい。

1. 施設整備による教育研究等への効果について

(1) 調査対象施設の整備による教育研究等への効果について、どのようにお考えですか。記入欄1の該当欄に1つ「○」を付けて下さい。また、教育研究等の効果を発現するために最も有効であった整備内容を依頼文中の2.の「記号 i ~ ix (「○」が付いているもの)」から1つ選び、記入欄2に記入して下さい。

※記入欄1の選択のめやすとして、施設の使用開始後1年以上経過しある程度効果が発現している施設は「効果が現れている」欄から、施設の使用開始後1年未満の場合は「現時点では効果が現れていない」欄から選択して下さい。  
 ※記入欄2は、「効果があった」、「やや効果があった」又は「今後、効果が見込まれる」、「今後、やや効果が見込まれる」を選択した場合に記入して下さい。

	記入欄 1				記入欄 2				
	効果が現れている			現時点では効果が現れていない			該当しない（施設用途と合致しない）	最も有効であった整備内容	
	効果があった	やや効果があった	あまり効果がなかった	効果がなかった	今後、効果が見込まれる	今後、やや効果が見込まれる			今後、あまり効果が見込まれない
① 少人数教育等のきめ細やかな教育の実施									
② 教育研究内容の拡充									
③ 建物・設備の高機能化、効率化による教育研究の進展									
④ 諸室の配置や動線の見直しによる教育研究活動の活性化									
⑤ 共同研究や異なる研究分野の研究者との交流の活性化									
⑥ 建物・設備の高機能化による研究意欲の向上									
⑦ 室内環境の改善による学生の学習意欲の向上									
⑧ 創造的・独創的で自立した研究者の育成									
⑨ 先端技術の知識を取得した技術者の育成									
⑩ その他（上記以外のものがあれば主なものを記入して下さい。）									

(2)上記の効果に加え、施設整備による教育研究等への効果として定量的に把握されているものがございましたら、次の例示から該当番号を選択し、(i)に記入し(複数選択可)、その具体的な数値等を把握されている場合には(ii)に記入して下さい。また、例示以外に定量的に把握できている効果等がありましたら、(iii)に記入して下さい。

【例示】

①入学志願者数の増加、②学生の授業の出席率の向上、③学生の試験成績の向上、④就職・進学等の卒業後の進路の充実、⑤各種資格試験合格率の向上、⑥国内外との共同研究・連携の推進、⑦新技術等の開発・製品化・特許申請等の増加、⑧ベンチャー企業の設立、⑨論文等の発表、被引用数の増加、⑩学会等での発表・招待講演の増加、⑪寄附金・競争的資金等の外部資金やCOE等の採択の増加、⑫教員や学生の学術賞等の受賞、⑬公開講座の参加者増

(i)該当番号を記入して下さい。

--

(ii)具体的な数量等を把握されている場合は、具体的に記入して下さい。

--

(iii)その他、例示以外に定量的に把握できている効果等がありましたら記入して下さい。

--

2. 他の施設を含めた施設の現状について

貴大学が現在保有している施設について、どのようにお考えですか。調査対象施設以外の施設の保有面積(量)、施設の機能(質)について、それぞれ該当欄に1つずつ「○」を付けて下さい。

	保有面積(量)					施設の機能(質)				
	満足	やや満足	やや不満足	不満足	該当なし	満足	やや満足	やや不満足	不満足	該当なし
①教育研究に関する施設										
i 新たな教育研究を実施するための施設										
ii 若手研究者が自立して研究できる環境										
iii 大学院教育充実のための施設										
iv 教育研究の国際交流を推進するための施設										
v 優れた教育研究機能を持つ世界水準の学術研究の拠点となる施設										
vi パソコン、LAN、プロジェクター等の高機能な設備を備えた施設										
②附属図書館										
i 教育研究を支援するための附属図書館										
③学生支援に関する施設										
i 学生宿舎										
ii 留学生宿舎										
iii 福利厚生施設(食堂、課外活動施設等)										
iv 学生が集える場(コミュニケーションスペース)										

3. あなたご自身について、あてはまる記号を選択してください。

	記入欄
①性別 a:男性 b:女性	
②年齢 a:20代 b:30代 c:40代 d:50代～	
③職名 a:教授 b:准教授 c:助教 d:講師 e:助手 f:事務局 g:その他	
※「g」を選択された場合は具体的に記入して下さい。	

関係各部(課) 御中

○○大学施設部

施設整備に関する意識調査への協力について(依頼)

貴学の教員の方々へ、標記調査についてご協力をお願いしているところですが、事務局において把握している施設整備による教育研究への効果(定量的なもの)がございましたら、次の例示から該当番号を選択し、(1)に記入し(複数選択可)、その具体的な数量等を把握されている場合は、(2)に記入して下さい。

また、例示以外に定量的に把握できている教育研究への効果等がありましたら、(3)に記入して下さい。

○調査対象施設

法人番号	法人名	事業番号	棟名称等	竣工
0	0	0	0	平成 0 年 0 月

【例示】

①入学志願者数の増加、②学生の授業の出席率の向上、③学生の試験成績の向上、④就職・進学等の卒業後の進路の充実、⑤各種資格試験合格率の向上、⑥国内外との共同研究・連携の推進、⑦新技術等の開発・製品化・特許申請等の増加、⑧ベンチャー企業の設立、⑨論文等の発表、被引用数の増加、⑩学会等での発表・招待講演の増加、⑪寄附金・競争的資金等の外部資金やCOE等の採択の増加、⑫教員や学生の学術賞等の受賞、⑬公開講座の参加者増

(1)該当番号を記入して下さい。

(2)具体的な数量等を把握している場合は、具体的に記入して下さい。

(3)その他、例示以外に定量的に把握できている効果等がありましたら記入して下さい。

(※附属図書館、学生支援施設、附属病院については、添付省略)